第13回（2022年第2回）東京医科大学病院　監査委員会議事要旨

1　日時：2023年3月20日（月）　18時30～20時00分

2　場所：東京医科大学病院　9階　臨床講堂

3　出席者：【委　員】落合 委員長、安原 委員、桑原 委員*1
【病院側】山本 病院長、菅野 医療安全管理責任者、
三島 医療安全管理室室長、浦松 医療安全管理室副室長、
高橋 医療安全管理室室員、梶 医療安全管理者、
竹内 医薬品安全管理責任者、犬伏 薬剤部主査、
内野 医療機器安全管理責任者、山田 臨床工学部技士長、
齋藤 医療放射線安全管理責任者、内田 放射線部技師長（代理 筑間技師長補佐）
渡邉 感染制御部部長、石川 総合相談・支援ｾﾝﾀｰｾﾝﾀｰ長、
内野々 総合相談・支援ｾﾝﾀｰ専門員、伊藤 臨床研究支援ｾﾝﾀｰｾﾝﾀｰ長、
醍醐 事務部部長、松下 総務課課長、
※名前の後に *1のあるものはWeb参加

4　議題：(1) 山本 病院長の挨拶
(2) 落合 委員長の挨拶
(3) 報告事項および監査について
2022年度上半期報告事項
①医療安全管理報告
②医薬品安全管理報告
③医療機器安全管理報告
④医療放射線安全管理報告
⑤感染対策について
⑥患者相談窓口について
⑦高難度新規医療技術導入制度について

5　監査項目：①菅野　医療安全管理責任者より下記について報告
・インシデント報告　・M&M検討会検討事例
・院内医療事故・有害事象調査委員会　・医療事故調査制度検討事例
・日本医療機能評価機構への報告件数　・院内医療安全研修会
・医療安全関係委員会報告
②竹内　医薬品安全管理責任者より下記について報告
・医薬品安全管理責任者の業務
・副作用報告について　・医薬品の適応外使用・禁忌評価部会の設置
・医療安全研修会　・高齢者における薬物療法の注意点

③内野　医療機器安全管理責任者、山田　臨床工学部技士長より
下記について報告
・医療機器安全管理責任者の責務について
・研修実施状況　・医療機器保守点検　・医療機器添付文書等の管理
・安全性情報の収集と周知　・誤作動・故障の現状と対応　・改善のための方策
④齋藤　医療放射線安全管理責任者、筑間　放射線技師長補佐より
下記について報告
・医療法における医療放射線安全管理に係る体制の整備
・医療被ばくに係る安全管理のために必要となる方策の実施
・新たな医療安全への取り組み
⑤渡邉　感染制御部部長より下記について報告
・新型コロナウイルス感染対策　・院内感染対策 現状 手指衛生
・耐性菌・アウトブレイク対策　・感染対策向上加算
⑥石川　総合相談・支援センターセンター長より下記について報告
・患者さんの意見から改善を行った事例
⑦臨床研究支援センターセンター長　伊藤　より
・高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等の提供　・先端医療管理部門の構成員
・新規申請　・実施件数　・有害事象報告　・規程・手順書の整備
・高難度新規医療技術の導入時における申請基準　・課題

6　監査結果：①インシデント報告数は他病院に比べても多い水準である。３b 以上の事例についても報告件数の詳細な把握に努めてもらい、臨床研修医についてはより一層積極的に報告をしてもらう環境作りをお願いしたい。なお、職種別の報告率を集計することで職種間の偏りを確認することも併せて提案したい。
②院内の心肺停止症例の減少を期待して、ＲＲＳ運用の早期本格化をお願いしたい。
③医薬品の適用外使用に関する手続きは煩瑣であることが一般的だが、法的にも医療的にも重要なものであるため、本院でも現状通り、引き続き適正に実施されたい。
④免疫チェックポイント阻害薬は今後に向けて使用頻度が増加することと思うが、慣れないうちは現場の混乱が予想されるため、取り扱い研修を十分に実施されたい。
⑤コロナ禍では各医療従事者が本来業務では使用しない機器を扱う場面もあったかと思う。将来的な類似状況での活用に備え、そうした事例の記録管理をお願いしたい。
⑥放射線読影に関するＡＩ技術は革新的なものであるが、今後の精度向上を待つ意味でも、技術に頼りきって医療従事者の技能低下を招かないよう配慮願いたい。
⑦患者相談窓口に寄せられた要望意見に改善対応した場合は、要望主に限らず広報としてフィードバックし、病院が対応したと分かる運用方法を検討されたい。そうしたことの積み重ねが病院と患者のコミュニケーション向上に繋がると思われる。
⑧高難度新規医療技術は大学病院として主体的に担うべき事項であると再度認識のうえ、審査件数向上に努めてもらいたい。

7　委員長より総評：
毎回の監査でも感じるところだが、患者へ安心で安全な医療を提供することの重要性は変わらず、

その中で各項目において医療安全の観点から大変真摯に対応されていると感じられた。新型コロナウイルス感染症禍においてもその評価は変わらず、山本病院長以下職員の方々の取り組みを確認できた。新型コロナウイルス感染症が5類に移行しても、変異株などによる感染状況の変化を注視し引き続き感染症対策にご尽力いただくとともに、これまでの対策を踏まえて学んだことを活かし、ポストコロナに備えていただきたい。

8　配布資料：①2022年度上半期　医療安全管理報告
②2022年度上半期　医薬品安全管理報告
③2022年度上半期　医療機器安全管理報告
④2022年度上半期　医療放射線安全管理報告
⑤2022年度上半期　感染対策について
⑥2022年度上半期　患者相談窓口について
⑦2022年度上半期　高難度新規医療技術導入制度について

記録者：総務課